



モスクワだより

在ロシア日本国大使館 一等書記官 **ましこ 増子** **たかのり 喬紀**



1. はじめに

皆様にとってのロシアのイメージはどんなものでしょうか。お隣の国であるにも関わらず、日本国内ではなかなかロシアのことについて身近な情報がないこともあり、昨今のウクライナ問題の報道も相まって、残念ながら「おそロシア」的なイメージが広がっているのではないかと思います。

一方で、ロシア人は（特に高齢層において）日本に対して良いイメージを持っていることが多いです。私も赴任当初は日本人の対露イメージとロシア人の対日イメージのギャップに驚かされました。ここロシアでは、日本製品に対する信頼も高く、「日本ブランド」神話がいまだ通用する数少ない国の一つです。

モスクワに住んでいる実感としては、経済制裁やそれに伴うルーブル安の進行、また、経済制裁への対抗措置としての米国・EU等からの農作物輸入の制限による食料品を中心とする物価の上昇等は感じられますが、治安面の悪化等はそれほど感じられません。ちなみに、ここモスクワでは、地域にもよりますが、夜12時頃でも女性が一人歩きしているのをよく見かけるなど、治安は悪くはないように思えます。もちろん、強盗やひったくりといった犯罪もないわけではありませんので油断は禁物ですが・・・。

これまで、いわゆる「西側」とは少し違った発展をしてきたこともあって、モスクワでは日本との違いもいろいろなところで感じます。街中を歩いていて特に目につくのは、両替屋さんや花屋さん、薬屋さんの多さです。午前3時に急に花が必要になるというようなシチュエーションはあまり思い浮かびませんが、これらの花屋さんやスーパーマーケットは24時間営業のお店が多いのも驚かされます。一方で、いわゆるコンビニはありません。また、我が国の文化と言っても過言ではない自動販売機は、日本の自動販売機メーカーが進出していることもあり、徐々に増えてきています。

さらに、モスクワ市内では東京都内よりも多いのではないかと思います。高級車がたくさん走っています。貧富の差（格差）が大きいことも一因ですが、ソ連崩壊時に住んでいたアパートをそのまま無償で取得できたということから、昔からモスクワに住んでいる人は家賃負担がないため可処分所得の割合が大きいということも影響しているかもしれません。

そして、バレエ、オペラ、コンサート、サーカス等、屋内系のハイレベルな芸術が気軽に楽しめるのも当地の特徴です。

そんなあまり日本で知られていないモスクワの現状についてICTネタを中心に御紹介させていただきます。

2. ロシアの携帯電話事情

(1) 契約方式

ロシアでは、ビッグ3と呼ばれるMTS、Megafon、Beelineの3社を中心として携帯電話が普及しています。ここロシアではポストペイド式の契約も可能ですが、プリペイド式の携帯電話契約が主流であり、携帯電話キャリアショップはもちろん、家電量販店のほか、駅や空港、路上等でSIMカードが販売されており、パスポートさえ提示すれば気軽に購入できます。また、モスクワ市中心部のほとんどのエリアでLTEによる高速通信が利用できます。

プリペイドのチャージは、街中にあるキオスク端末に携帯電話番号を入力し、お金を投入するだけでOKなので簡単です。もちろん銀行送金やWeb経由でクレジットカードを使用してチャージすることもできます。

(2) 携帯電話料金

無料通話・通信が含まれるパック料金等の設定もありますが、基本料金無料のプランも多くあります。基本料金無料のプランであっても、1分当たり1.8ルーブル（約5円）程度の通話料であり安いです。そのせいもあってか、街中ではロシアの人が通話をしているのをよく見かけます（運転中も！）。一説によると、ロシアでヨーロッパ各国よりもオートマチック車が普及しているのは、運転中でも電話するためだとか・・・。

インターネット定額プランも月3GB利用で350ルーブル（約1000円）程度と格安です。気をつけなければならないのは、SIMカードを購入した都市以外の地域に行くときには、「ローミング」扱いになり、通話料金が高くなることです。インターネット定額プランも安いものは地域限定で定額になっていることもあるので、利用するときにはよく確認が必要です。



(3) 端末販売

一部のUSBモデム、ルーターを除けば、通話可能な端末やタブレットに関してはほとんどSIMフリー端末が売られています。最新のiPhone6もSIMフリーモデルが日本から1週間遅れで販売が開始されました。一括払いでの購入の他、10回分割払いなどを受け付けているところも多く見受けられます。

(4) 位置情報を活用した渋滞情報サービス

当地では、Yandex社の地図アプリを利用するユーザーの位置情報を利用して、詳細なリアルタイム渋滞情報が提供されています。実際のユーザーの移動情報に基づいているので、精度も高く、信頼されています。

また、多くのタクシー会社がandroidタブレットベースのタクシー配車・管理システムを構築しており、タブレットが会社との連絡（とGPSによる位置確認）手段、ナビゲーション、料金メーター（!）を兼ねています。モスクワの渋滞はひどいので渋滞情報が極めて重要であること、また通信料金が安いこともあって、こういった機器が相当程度普及しているという印象です。余談ですが、ドライブレコーダーの普及率も高いように見受けられます。

(5) 決済サービス

面白いのは、SMSによる認証を利用して「決済」もできることです。ネットで演劇のチケット等を購入する際の支払い方法としても利用できるほか、昨年からはパーキングメーター制が導入されたモスクワ市内において路上駐車を行う際にも、SMSを決められたフォーマットで送信するだけで自動決済が可能になっています。

3. モスクワの固定通信網事情

最近、モスクワでも加入者向けの光ファイバー接続サービスが始まりました。例えば888ルーブル/月（約2500円/月）のプランでは、200Mbpsのインターネット接続とHD品質のIPTVサービスがセットで提供されています。もちろんケーブルテレビやイーサネットによるインターネット接続サービスも提供されていますが、いずれも数百ルーブル程度と安価にサービスが提供されています。

4. モスクワの電波塔

(1) オスタンキノTV塔

1967年に完成した540mのTV塔。展望台の高さは、東京タワーの最上部よりも高い337mで、夏の間は開放型（!）展望台で更なるドキドキ感が楽しめます。ガイドによると、地中に埋まっている部分はわずか数m（!）しかないらしい。



写真1. オスタンキノTV塔

1960年代に540mものタワーを造ることができたソ連の技術力に驚かされます。



写真2. シューホフの塔

見た目のインパクトでは随一のタワーだと思います。



さらに、よく見ると最上部には旗が立てられており、これで数m分の高さを稼いでいるとのこと。

(2) シューホフの塔

1922年に完成した160mの電波塔。ウラジーミル・シューホフの設計による双曲面構造の塔は芸術的ですが、経年劣化等の問題や再開発の話があり、取壊し話が出ています。

5. モスクワ生活

(1) 言語

基本的には、ロシア語しか通じませんが、空港や旅行者向けのホテルでは英語も通じます。看板等の案内についてもロシア語のみのところが多いですが、最近は徐々に英語との併記のものも増えてきています。若い世代は英語教育を受けているので、徐々に変わっていくのかもしれない。

ちなみに顔文字の「(´Д`)」の口の部分である「Д」はロシア語で使われているキリル文字です。意外に身近なところにもロシア語が隠れています。

(2) 公共交通機関

当地では、最近、地下鉄・バス・トラムの共通カード「トロイカ」が導入されました。1ルーブル単位でチャージして、改札でタッチするたびに料金が減算されていく仕組みです。



写真3. 最近モスクワ市内に普及しつつある自動販売機。アイスクリームとコンタクトレンズの自動販売機とともに、日本の自動販売機が頑張っています。

もちろん、1回券や回数券もありますが、全て非接触ICカードが使われています。

1回券、2回券、5回券は英語にも対応した自動券売機でも買えるので、地下鉄利用のハードルはそれほど高くないです。

地下鉄は路線も充実していますが、駅間がちょっと長めなのが玉にきずです。地下鉄駅から長い距離を歩かなければならないことも多いです。

(3) 買い物

モスクワは物価の高さランキングにおいて、ここ数年上位に顔を出し続けています。昔は物資も不足気味であったと聞きますが、今のモスクワでは、生活する上で（値段や品質はともかくとしても）物がなくて困るということはありません。

郊外には多くの大型スーパーやショッピングモールがあり、多くのロシア人が買い物を楽しんでいます。

(4) お食事

ロシア料理はもちろん、おしゃれな西洋系のレストランや中央アジア系のレストランなど種類は豊富ですが、総じて単価は高めです。

また、モスクワでは日本料理はとても人気があり、寿司を出すレストランは800～1000店舗もあると言われています。

6. おわりに

旅行先としては他のヨーロッパ各都市と比べると残念ながら今ひとつ人気のないモスクワですが、実際に来ていただいた方からは「意外に」良かったという評価をいただきます。実はヨーロッパ最大の人口を擁する都市であり、前述のとおり高級車がたくさん走っているなど、非常に面白い市場なので、新たなビジネスの種を探しにモスクワに出張されてはいかがでしょうか。本物のウォッカ（アルコール度数は40度）とボルシチ（トマトケチャップは入っていません）とともにお待ちしております！

（本稿は、筆者個人の見解を述べたものであり、所属組織の見解を示すものではありません）